



## 報道発表

2023年4月11日

### ホロバイオ株式会社への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるホロバイオ株式会社（本社：京都市西京区、代表取締役：梅田眞郷）に対する投資を実行いたしました。

#### ○今回の投資の概要

ホロバイオは、魚類から樹立した機能性腸内細菌を添加した餌を養殖魚に与えることで腸内に生着させ、養殖魚の成育や健康を改善する技術を開発する京都大学発スタートアップです。

日本の水産市場は漁業人口の減少や漁獲量制限で微減している一方で、世界市場は成長産業であります。しかし、魚類乱獲による水産資源の減少、海洋汚染による環境負荷の増加、漁業コストの高騰等が社会問題となっています。また、持続的な漁業を目指し、陸上養殖や人工養殖の技術開発が進められていますが、天然魚に比べると成育不良や突然死といった課題を抱えています。ホロバイオは、養殖魚の腸内細菌が天然魚に比べて貧弱なことに着目し、機能性腸内細菌を与えることで腸内細菌叢を改善させ、養殖魚の成長促進や感染予防を目指します。

京都 iCAP は、ホロバイオの機能性腸内細菌の樹立及び細菌叢改善技術が、養殖魚の漁獲高増加、ひいては餌用魚類乱獲抑制や海洋汚染の改善に貢献することを期待し、4,000 万円の新規投資を実行しました。今回の調達総額は 5,000 万円で、京都 iCAP 以外に中信ベンチャーキャピタル株式会社が運営する中信ベンチャー・投資ファンド 6 号投資事業有限責任組合が参加しています。ホロバイオは今回の資金調達により、ブリ等による有用腸内細菌株を樹立・選抜し、人工種苗生産による有効性評価を実施します。

#### ホロバイオ株式会社 概要

設立 2020年4月

事業内容 養殖魚の腸内細菌叢解析、機能性腸内細菌叢を含む餌の開発

本社所在地 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ北館

代表取締役 梅田 眞郷（うめだ まさと）

HP : <https://www.holo-bio.com/>



## ○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 181 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

### 【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
事業企画部長（広報担当） 河野修己  
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592  
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp